

シンポジウム：「生薬等医薬資源の科学の構築」に向けて
ファンクショナルゲノミクスと化学から医薬資源の確保・国産化と医療の展開まで

日時：平成 25 年 2 月 19 日 12 時 20 分～14 時 45 分

場所：東京大学薬学部・大会議室 東京大学薬学系総合研究棟 10 階
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

12 時 20 分～12 時 25 分 「シンポジウム趣旨説明」

日本薬学会生薬・天然物化学部会部会長（平成 25 年 4 月～）・
静岡県立大学薬学部生薬学講座 野口 博司

座長 野口 博司

12 時 25 分～12 時 30 分 「全国薬用植物園の期待される役割」

全国薬用植物園園長会議議長・
東京大学大学院薬学系研究科長 堅田 利明

12 時 30 分～12 時 35 分 「日本学術会議の大型研究計画について」

日本学術会議会員・
東京大学大学院薬学系研究科薬品代謝化学教室 長野 哲雄

12時35分～13時05分 「植物薬用成分の生産制御と生合成」

東京大学大学院薬学系研究科天然物化学教室 阿部 郁朗

13時05分～13時35分 「生薬資源のファンクショナルゲノミクスからの展望」

千葉大学大学院薬学研究院遺伝子資源応用研究室・
理化学研究所植物科学研究センター 斉藤 和季

13時35分～14時05分 「伝統医薬データベースを基盤とした難治性疾患への治療戦略」

富山大学和漢医薬学総合研究所資源開発研究部門・
生薬資源科学分野 小松 かつ子

14時05分～14時15分 「漢方薬の効果のエビデンス化」

富山大学和漢医薬学総合研究所 所長 濟木 育夫

14時15分～14時25分 「生薬資源の確保に向けて」

国立医薬品衛生研究所 生薬部部長 合田 幸広

14時25分～14時45分 総合討論

当日連絡先 阿部郁朗 TEL: 03-5841-4740、野口博司 TEL: 090-3555-0227